

第2回 医薬品関連ものづくりセミナー

富山県新世紀産業機構では「医薬品関連ものづくり研究会」の活動を通じて、産学官連携による県内ものづくり企業の医薬品容器・包装分野等における製品開発を支援しております。

このたび、当研究会活動の一環として、医薬品関連ものづくりセミナーを開催いたします。

ご多用中のこととは存じますが、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。

2019年 9月25日（水） 13:30～16:00

【会場】富山県民会館701号室（富山市新総曲輪4番18号）

【定員】30名（定員になり次第、締め切らせていただきます）

【受講料】無料

【締切】2019年9月24日（火）

【プログラム】

13:30～13:35 開会

13:35～14:35

「薬機法・薬剤師法」の改正及び厚労省発出通知「調剤業務のあり方について」等が医薬品の容器・包装等に及ぼす影響について
国際医療福祉大学 薬学部 特任教授 土屋 文人 先生

秋に開催される臨時国会で継続審議となっている改正薬機法・薬剤師法が成立する予定である。改正薬機法と添付文書の関係については、それが医薬品の容器・包装に及ぼす影響を考えるとともに、ハーボニー事件に関連して見直された日薬連の「医薬品の封・密封性の確保に関するガイドライン」のめざすところについて述べる。

また、薬剤師の専権事項とされてきた調剤については、4月2日付けで厚労省医薬・生活衛生局総務課長通知「調剤業務のあり方について」が発出された。このように医薬品の取扱いだけに留まらず、薬剤師の業務環境についても様々な変革が起きている今、これから起きうることについて考えてみたい。

14:35～14:45 質疑応答

14:45～15:00 名刺交換

15:00～ 個別相談（富山県民会館703号室）

※セミナー終了後に希望者を対象に「個別相談」の機会を設けます。講師・コーディネータ等とともに、各種相談や質問事項にお答えします。
【詳細は事務局までお尋ねください。】



講師の紹介：

東京大学薬学部卒業後、同大学医学部附属病院薬剤部助手となる。その後、司法試験の受験勉強をされ、不動産管理会社社長を経て、帝京大学医学部附属市原病院薬剤部長・医療システム部長（兼任）、東京医科歯科大学歯学部附属病院薬剤部長、国際医療福祉大学薬学部教授・同附属病院薬剤統括部長を歴任され、現在は、同大学薬学部特任教授を務められる。

また、これまでに、日本薬剤師会及び日本病院薬剤師会において、それぞれ副会長を務められ、厚生労働省の審議会部会委員等としてもご活躍される。専門は医療情報学、人間工学（ヒューマンエラー）。電子カルテで使用するための標準医薬品コード（HOTコード）を作成、医薬品の名称類似問題解決のため類似名称検索システムを開発。

【お申込み・お問い合わせ先】

主催 公益財団法人 富山県新世紀産業機構 医薬品関連ものづくり研究会（担当：高橋）

〒930-0866 富山市高田529 e-mail : t.takahashi@tonio.or.jp

TEL 076-444-5636 FAX 076-433-4207